8 コミュニティーで防災を

自分たちでイベント

もしもに備え、防災知識を学び、体験するイベントを開催し、参加しよう。

1 家族で考えよう

- ☐ 家族で集まり話し合おう。もしもの時にどうするか
- ☐ 地震が起きたら、身を守られる場所はどこか
- ☐ もしも、寝ている時に地震が起きたら
- ☐ 停電になったら
- ☐ トイレや浴室などに入っていたら

2 地図やハザードマップを広げて家族で決めておこう

- ☐ 近所の避難場所や避難経路
- ☐ 家族や仲間との集合場所
- ☐ 家族との連絡の取り方
- ☐ 自分の連絡先、家族の連絡先

3 地域でやろう

自治会や町会で防災訓練をしよう

初期消火や応急救護訓練、救出·救助、通報連絡、避難訓練などに日ごろから参加すると、災害時も慌てずに対応できます。訓練を実施する場合は、市役所の防災担当や最寄りの消防署に相談しましょう。

火災の拡大を防ぐには初期消火が大切です。家庭用消火器の使い方や小型の消火ポンプの取り扱いなども知っておくと、少人数で効果的な消火が可能です。

出火を防ぐため、地震が起きた時に火を消すことや、電気やガスの元栓から切る方法を学びましょう。火災や救急·救助など災害発生時に、消防機関に正しく通報する訓練も大切です。

Point!

大津波避難速やかに 登別市とパロマが合同訓練

工場敷地内を通過し、渡線橋から若草望洋広場へ避難に向かう参加者

登別市とパロマ北海道工場（今井秋生工場長）主催の津波合同避難訓練が栄町の同工場付近などで行われた。従業員や地域住民ら約110人が参加し、避難経路を確認するなど万が一に備えた。

合同訓練は定期的に行われている。今回は、同社が国道側フェンスに避難扉を設置したことから、初めて同工場の敷地内を通る訓練を実施。参加者は工場敷地内を抜け渡線橋を渡り、若草望洋広場を目指した。

震度5弱の地震が発生し、3分後に大津波警報が発令されるという想定。工場では「大きい地震が発生しました。直ちに避難してください」「大津波警報が発令されました。若草望洋広場まで避難してください」と放送が流れた。従業員が工場を出た後、地域住民も避難した。

小笠原春一市長は「地域によって津波の到達時間が変わる。市としても正確な情報を1秒でも早く届けられるよう努める」と述べた。市防災課の担当者は「実際に災害が起きたときのために、家族で避難場所の確認など落ち着いて行動できるよう、災害や避難訓練について話し合ってもらいたい」と訴えた。 =2024年2月15日

Clean & Creative Amenity
一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業
住みよい環境を考える
道南清掃株式会社
代表取締役会長 齊藤 崇
代表取締役社長 藤井利克
43-5580（代）
室蘭市東町3丁目2の11 FAX43-5582

消防用設備から防災用品、保守点検・メンテナンスまで
お気軽にお問い合わせください
消防用設備・用品・保守点検・メンテナンス
道都防災設備工業㈱
室蘭市日の出町1丁目8番1号
0143-44-1013
メールでのお問い合わせはこちら douto-bousai@forest.ocn.ne.jp
私たち道都防災設備工業にお任せください

大規模災害時にはボランティアセンターを設置

災害発生時には、地元をはじめ各地からボランティアが訪れます。円滑に対応できるために、行政が災害ボランティアセンターを設置し、支援物資の仕分けや被災した家屋からの泥出し、徐灰、家具の運び出しなどで住民を助けます。室蘭市では、協定により市社会福祉協議会がセンターの運営に当たります。

また、企業や団体も自治体と協定を締結し、災害時にそれぞれの技能や資材を優先的に提供して支援活動を行います。室蘭市では登別室蘭青年会議所や室蘭、室蘭東の2ライオンズクラブが協定を結んでいます。

ボランティア活動の意義などを学んだ交流会 =2024年1月22日

さらに、室蘭市医師会、薬剤師会室蘭支部、胆振地方石油販売協同組合などの業界団体をはじめ、市内の大型店やホテルなど75の団体や事業者と物資やサービスの提供、駐車場の利用、津波避難ビルとしての建物の活用について連携しています。

協定書を交わした小笠原市長（右）と山田会長 =2022年6月26日

Point!

災害時の線路横断協議へ

緊急時の線路横断が可能になれば、避難行動の迅速化へ期待は高まる

JR北海道が津波など緊急時の線路横断について、沿線自治体と具体的な方法や条件などの協議を進める方針を示した。避難する際に海沿いの線路が支障になる室蘭·登別両市内の関係者からは「津波からいち早く逃げるためにも必要」と歓迎する声が上がっており、協議の行方を注視している。 =2024年2月4日

Point!

防災通知機能を役立てて FMびゅーラジオアプリ「レディモ」

「レディモ」の活用方法について解説する沼田社長

室蘭市中島町のFKホールディングスきらんで「FMびゅーラジオアプリ レディモ防災活用説明会」が開かれた。参加者は、スマホからリアルタイムで見ることができる防災通知機能付きアプリ「レディモ」について理解を深めた。

室蘭まちづくり放送の沼田勇也代表取締役社長はコミュニティー放送が開局する理由を「大きい災害が起こったときに、電波も遮断されるためラジオが必要になる」と解説。「少しの発電機と電波があれば、どこでも放送ができる」とラジオの特性、必要性を話した。

FMびゅー開局15周年を記念し、昨年8月に同アプリのサービスに加入。現在約3700人が登録している。同社は室蘭、登別、伊達の3市と室蘭警察署、室蘭地方気象台からの情報を発信している。今後は直接発信していくためのシステムを本州の大学と開発するという。

=2023年11月16日

マドリエ室蘭 LIXIL
リクシル PATTOリフォーム
短時間リフォームでパッと取り替え!
最短30分からの簡単リフォーム
最短1日で工事完了 簡単リフォーム
PATTO リクシル マド本舗
「PATTO リクシル マド本舗」は、窓・ドアの専門店として、高い技術力と豊富な知識でみなさまの健康で快適な住まい環境づくりをサポートします。
※現場の状況により施工に必要な時間は異なりますので、目安とお考えください。
工事が早い 最短30分からできる簡単リフォームだから長時間スケジュールを空けなくても大丈夫。
見積もりが明朗 工事費込みの分かりやすい参考価格だから予算計画が立てやすい。
お問い合わせが簡単 リクシルPATTOリフォーム専用窓口で、どんなことでも気軽に相談できる。サービスショップのご紹介も。
LIXIL FC マドリエ 室蘭
無料見積承中
45-4381
小玉硝子トーヨー住器株式会社
室蘭市日の出町2丁目6-9 ■営業時間/8:30~17:00 ■定休日/日曜·祝祭日
HP:http://kodama-garasu.com/
E-mail:kodamaty@agate.plala.or.jp
マドリエ室蘭 検索 クリック!!
お家の中のいろんなお悩みを、最短30分からの簡単リフォームでパッと解決!!